

スポーツと緑と安らぎのある公園の複合施設の整備に向けて  
～恩智川（法善寺）多目的遊水地の上面整備のための若手職員による検討会を開催しました～

現在大阪府が整備を進めている「恩智川（法善寺）多目的遊水地」について、大阪府の整備が完了した後、その上面を「スポーツと緑と安らぎのある公園の複合施設」として本市が利活用することとなっております。

本市では、その上面における有意義な利活用の方法を検討するため、企画部局、観光関係部局、防災部局、こども部局、健康づくり部局、都市デザイン部局及び教育委員会から選出された若手職員による「恩智川（法善寺）多目的遊水地の上面整備に関する内部検討会」を立ち上げました。

**第2回検討会を開催** 令和5年2月2日（木）に開催した第2回目の検討会では、令和4年12月1日から23日の期間で実施しました市民アンケートの結果をもとに、第1回検討会で委員から出された意見等を踏まえ、検討会としての「計画プラン（案）」をまとめるために意見交換を行いました。

【意見交換】

意見交換では、「整備プラン」および「各担当課で想定されるソフトな取組」をテーマに、遊水地の上面をどのように利活用できるか、市民アンケート結果をもとに具体的な施設の配置や設備の導入、またそれぞれの担当課で実施している事業等をもとに行う遊水地上面の利活用について、第1回検討会と同様に2つのグループに分かれて活発な意見交換を行いました。

A班

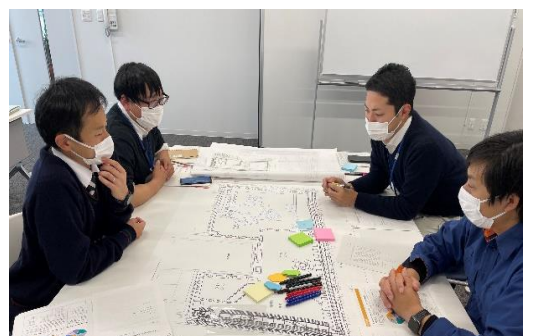
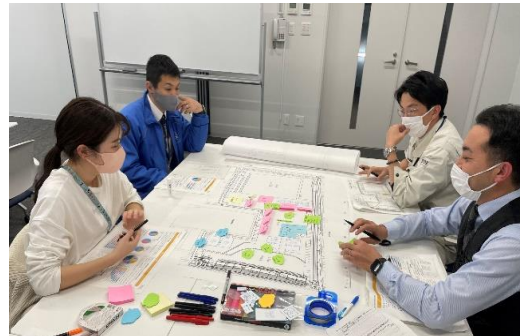
常時池の水辺空間を活用したアクティビティの提案やBゾーンを主に家族連れの来場を想定した憩いの広場としながら休憩施設やレジャー設備を設置し、Aゾーンにかけて各所に子どもが楽しめる遊具や、運動施設等を配置した活用方法が提案されました。

ソフト面での活用方法として、特産品販売や健康づくりイベント、また、環境を意識したイベントやグルメイベント等、多彩な催しを行う提案がありました。

B班

外周道路にウォーキング・ランニングコースを設置するだけでなく、施設内の管理用通路も活用したランニングコースや陸上競技施設をはじめとするスポーツを中心とした施設を設置しつつ、幅広い世代の利用者が憩える多目的広場を整備してレジャーとスポーツの複合施設としての活用方法が提案されました。

ソフト面での活用方法として、各種イベントや防災施設としての活用についての提案がありました。



各ゾーンの活用方法については、A班、B班に共通して次のような提案されました。（各ゾーンの区分は「恩智川（法善寺）多目的遊水地の平面図」を参照してください。）

- Aゾーン** 浸水の頻度が低いことから、スポーツ施設や高低差を活用した遊具を設置する複合スペース。
- Bゾーン** 浸水する頻度が高いことをあらかじめ想定して、多目的広場を中心としながら一部にスポーツ施設を設置することで幅広い世代が活動し、憩えるスペース。
- Cゾーン** アーバンスポーツなど、若い世代に活用いただけるスペース。

次回（3月開催予定）の会議におきまして検討会としての計画プラン（案）を作成いたします。